

国保データベースと データヘルスへの活用

2016

11/1(火)

18:00~20:00

(開場 17:30)

場所 **ハピネスふくちやま 3階 会議室2** 参加費 **無料 (要申込)**

わが国は人口当たり透析者数が世界一多く、その半数近くは糖尿病が原因であり予防可能である。レセプトや健診データを活用して重症化を予防する「データヘルス」が推進されているが、そのためには全国市町村に配備されている国保データベース(KDB)が有力な武器となる。KDBは国保、後期高齢、介護レセプトと特定健診データを含む優れたシステムであり、それを電子カルテとしてデータヘルスに活用する可能性を提言する。



福知山公立大学 教授

岡本 悦司氏

【講師プロフィール】

1991年大阪大学大学院医学研究科修了後、近畿大学医学部講師を経て、2002~2016年国立保健医療科学院研究官。前任地(国立保健医療科学院)では、埼玉県和光市、静岡県三島市のレセプトや健診データ、国保データベース(KDB)の分析を行い、その結果を市データヘルス計画の策定や特定保健指導の医療費効果評価に活用してきた。

主催：福知山公立大学 ・ 後援：福知山市

福知山公立大学 地域創生セミナー

福知山公立大学地域創生セミナーとは

一般公開講座より専門性を高めた講座です。市民の生涯学習の推進、地域に貢献する人材育成とともに、大学を身近に感じてもらう場とすることを目指しています。受講料は無料で今年度は4回の多様な講座を予定しております。たくさんの方の受講をお待ちいたしております。

福知山市「中小企業サポートセンター」、(公財)京都産業21北部支援センター、他大学教員、福知山公立大学教員らにより組織された地方創生研究会が中心となり、大学内外からテーマに合った講師を招き実施していきます。

第4回 | 地域創生セミナー

セミナーの詳細内容が決まりましたら、福知山公立大学ホームページにて随時ご案内いたしますので、ご覧くださいませ。

》福知山公立大学ホームページ | <http://www.fukuchiyama.ac.jp/>

FAX申込みフォーム

所属名(団体・企業等)	
住 所	
ふ り が な	
氏 名	
連絡先(電話番号)	